

地区広報

かいぞう

未曾有の大震災を目の当たりにして
大震災からの教訓とは…あなたはなにを感じましたか？



- ★わが町の主な海拔表示
- 海蔵小学校 5.9m
 - 海蔵地区市民センター 6.2m
 - 山手中学校 14.2m
 - 近鉄阿倉川駅 9.9m
 - 三ツ谷町交差点 3.8m
- ※参考
- 大谷小学校 44.3m
 - 金場町交差点 3.9m
- ★わが町の指定避難所
- 海蔵地区市民センター
 - 海蔵小学校
 - 山手中学校

津波避難目標ライン	三重県が平成23年10月に発表した「東北地方太平洋沖地震と同等規模の地震を想定した場合の津波浸水予測図(速報版)」を参考に、避難すべき目標を示したライン(東海・東南海・南海地震同時発生 M9.0想定)
海拔5mライン	内陸部の海拔5mの地点を結んだライン

「津波ってなに?」
大震災が教えてくれたもの…「絆」

標題は東北地方に伝わっている津波の教訓。三・一一の東北大震災にその教訓は生かされたでしょうか。一旦は逃げたのに荷物を取りに戻った人。「いやあ、なに大丈夫さ」とゆっくりしていた人。防災訓練のとおり高台に逃げて被害がなかった中学生たち。逃げる途中、生徒たちはたてんでんぢやなく足遅い幼児を背負ってひたすら丘を目指したとか。中学生が「逃げろ」と叫びながら不安がる小学生や保育園児を誘導した。それを見た大人も事の重大さを感じて避難した。その日はほんとうに、さまざまな人間模様がありました。

やっぱり日本人ってすごいなあと思えました。我慢強いこと、秩序正しいこと、互いに助け合うことなど。遠く離れたこの地で、報道からほんの一部を見て聞いただけなのに、それでも人生の価値観が変わりました。生きるうえで大切なこと、大事にしたいこと。当たり前の幸せに気づいたことで、熱い思いが胸を満たします。今のこの思いを忘れてはいけません。そして東海・東南海・南海地震がいつ来てもおかしくないことをひしひしと感じています。「備えあれば憂いなし」東北大震災が教えてくれた自然の警告から出来る備えを、身を守る術を、今一度自分のこととして受け止めて行動したいと思います。

あなたはどこに逃げますか?
避難所は分かっていますか?



あなたもチャレンジ! 防災クイズ



10月22日に山手中学校で防災クイズを行いました。その一部をご紹介します。

Q1
地震災害は、世界中のどこでも起きていると思いますか? 正しいのはどちらでしょう。

①世界の中でも、決まった地域にしか起きていない。
②世界中どこでも起きているが、地域によって回数が違う。

Q2
「災害用伝言ダイヤル」は、何番にかけたらいいでしょうか?

①117
②171

Q3
あなたが外にいる時に、大地震が起きた場合に避難場所として正しい場所は?

①ガソリンスタンド
②コンビニエンスストア

Q4
あなたがスーパーマーケットにいる時に大地震が起きました。正しい行動はどちらでしょう?

①買い物かごをかぶつてうすくまる。
②非常口から逃げる。

Q5
地震発生後、柱に足が挟まれて長時間身動きできず苦しんでいる人がいます。あなたがとるべき行動はどちらでしょう?

①そのままにして、救助隊の到着を待つ。
②挟まれている足をマッサージする。

Q6
1981年より前に建てられた家に住んでいる場合に、間違っているのはどちらでしょう?

①瓦屋根であり、屋根が重いので地震にも強い。
②耐震性の確保のために、専門家に耐震診断を依頼する。

イサ!というときのために… クイズの答えは6ページをご覧ください。解説は市民センター入口に掲示

防災情報カードを書いてみましょう!

必要事項を記入して、切り取って四つ折りにして携帯しましょう。必要に応じてコピーしてください。

本人確認ができる写真や健康保険証・診察券・薬剤情報提供書・お薬手帳のコピーと一緒に携帯するといいですね。

氏名	血液型	家族連絡先	電話番号
生年月日	年 月 日	氏名	続柄
電話番号 ()	-	氏名	続柄
住所		消防署 119	警察 110
		ラジオ FMよっかいち	76.8MHz
保険証記号番号		家族の集合場所	
病歴 常備薬 アレルギーの有無など		避難する場合は徒歩で。万一、通行できない場合に備えて、避難経路をいくつか決めておきましょう。自分の命を守るために、 まず避難! 津波の恐れがある場合は、 より速く より高く!	
かかりつけの病院		避難場所	

3・11未曾有の大震災を目の当たりにして

…他人ごとではない事実を受け止めて、今出来ること…

～3・11大震災で感じたこと～ 座談会から H23.12.18海蔵地区市民センター

教訓その1 自然界からの警告！…自然災害の怖さ

- 人を助けようとした人が亡くなっている。命の最優先とはどういうことなのか分からなくなってしまった。一体どうやって避難すればいいのか…勿論自分の命は自分で守る、でも一人で逃げていいのか
- 茨城で震災を体験した。震度6では立ってられない。経験したことのない液化化現象をみて、人の力ではどうにもならないことや、地変が起きた時の自然に対する無力感を感じた。自然に対する人間の傲慢さが不幸を招いたと思った。もう一度自然に対する畏敬の念を持つべきであり、自然の力に寄り添うことの大切さを思い起こした。正に現代人に対する自然からの警告である。だから次世代を担う子供たちに、今一度自然に対する昔からの言い伝えを伝えたい。…なまずと地震、蟻と水害などの言い伝え
- 子供の頃大阪で東海地震を体験したが、全く同じ思いだ。自分の命は自分で守るしかない。テレビに映し出される様子を見た驚きと、これが実際日本で起こっている事なのかと他人ごとではないと感じた。

教訓その2 身を守る

- すぐさま自分に置き換え、住んでいるところは海拔何メートルなのか、震災が起こったら家族でどう連絡するのかを話し合った。…災害伝言ダイヤルの仕方を子供たちに伝えた。
- 釜石市では小中学生の避難率が100%近くでほぼ全員が無事であった。指導を行った群馬大学片田教授は10年間生徒に「とにかくすぐ逃げろ」という防災教育を続ければ、その団塊が成人し、親になって地域の自然災害に対する感覚を変えるという。…日頃から中学生中心の防災訓練を実施してきた。独居老人との交流をはかり地域の連携を目指す。…すぐさま全国の教育現場で導入できないものだろうか。
- 東海・東南海・南海地震は必ず来る。自分たちで身を守る、山手中学校に逃げようと思う。
- 野田地区は三滝川、海蔵川の二川に囲まれ西方の市の指定避難所に逃げるしかない。
- 「逃げる」と「避難」は少し意味合いが違う。とにかく命を守るために先ず逃げる「皆さん避難して下さい！」ではなく「早く逃げて下さい！」とアナウンスすべきだ。聞いた我々は切迫感を持って逃げること。

教訓その3 き・す・な

- 学童保育所では震災が起きれば80人を超える児童の安全確保が必要であり指導者のみでは対応できない。病院、老人施設、保育園も同様な課題がある…これこそ地域の連携が必要となる
- 障害者、高齢者など生活弱者は一人では逃げられない。でもこれは震災時のみならず普段から地域の中で生きる事が重要である。存在を知ってもらい、共に生きる事で、どんな支援が必要なのかを伝えていくことが大切。
- 地区で防災訓練を実施する場合、はたして地域住民全員が賛同して実施されているだろうか。地区により受け入れ方も様々で格差があると思う。
- 折角震災で助かって身内を助けられなかった自分を責めた自殺があった。震災後の助合い、絆も重要。

【地域のサイレン知ってますか？】サイレンは現在海蔵地区市民センターに1機のみで、全地区には聞こえない。もっと複数個所に警報器具を設置してはどうか。サイレン音を周知させて定期的に訓練する必要があるのでは。

今回の震災を目の当たりにして、海蔵地区の方々に参加して頂き座談会を開催しました



津波って海蔵地区にも本当に来るの??

○避難場所は分かっていますか?…三ツ谷、野田、清水町には浸水の不安がある

行政マップを信用しすぎるな!安心マップになってはならない

○万一液化化現象で防波堤が損壊したら、もっと津波マップは変わるはず、コンビニート火災発生も想定したら、そんな危機感は大い。

今、災害時に備えてどんな準備をしていますか?

- 枕元にいつも電話、懐中電灯を準備している
- 「玄米フレーク」を毎朝食べています。…非常食も賞味期限の更新をしないとただの訓練に終わってしまう。玄米フレークは高カロリー食品で誰にでも食べやすい。日頃から避難を想定していれば無理がない。古い方から朝食にして常に非常食を更新していける。
- 震災以降、運転中は演歌を聞くのを止めてラジオを聞いている。常に正しい情報収集に努めている。



皆で非常食を体験しました!! ..あなたは準備出来ていますか?..

「梅わかめご飯」アルファ米でお湯を入れて30分で美味しい炊き込みご飯が完成します。

「パンの缶詰」(1缶2個入り)レーズンやコーヒーマ味で凄く美味、賞味期限5年。障害者施設で製造、総合会館売店など福祉の店(イオン四日市尾平店)で販売しています。

非常食 リュックに詰めて 準備万端 でも待てよ いざという時 背負えないかも(>_<)

海蔵地区から東北へのメッセージ伝言版 (海蔵地区文化祭 H23.11.6)

